

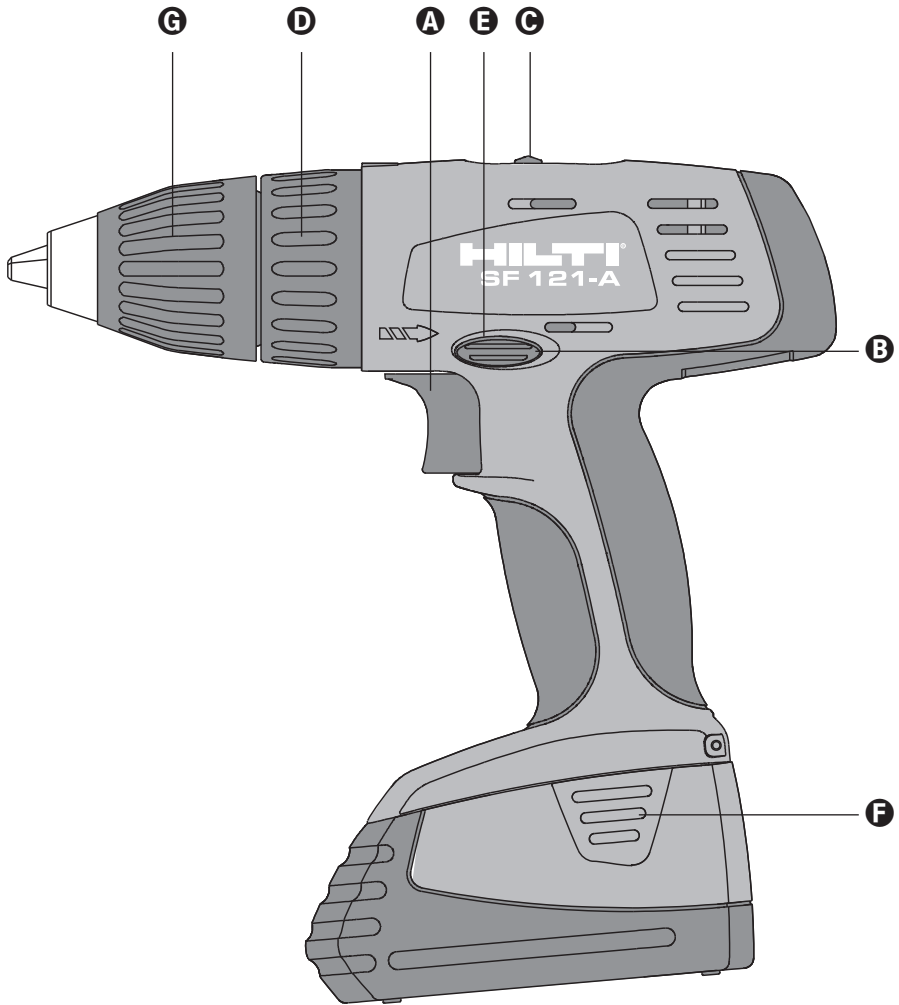


ja 取扱説明書

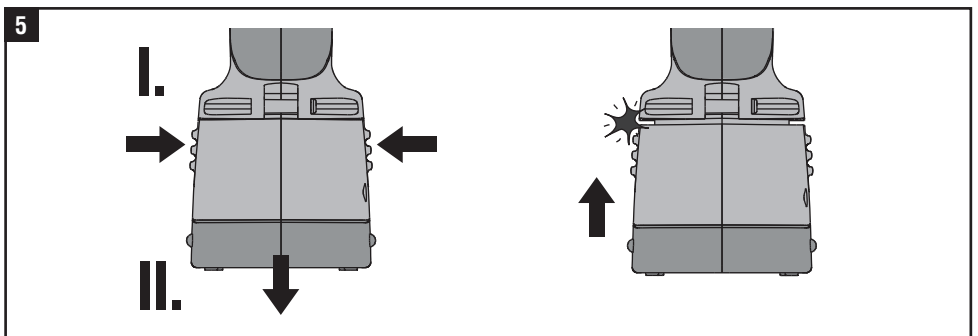
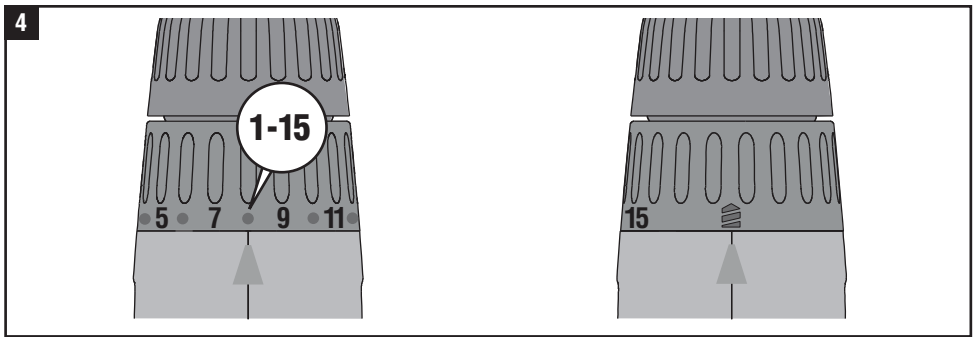
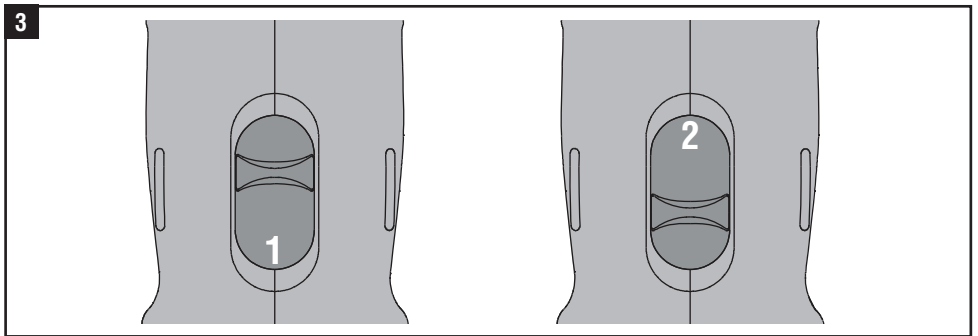
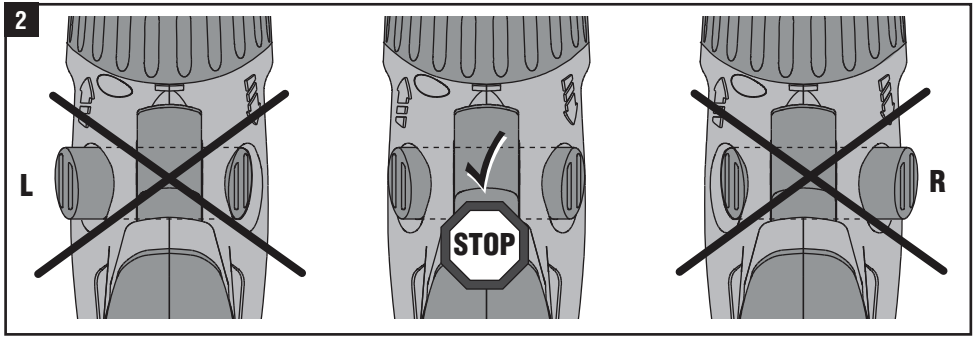
105-115

HILTI

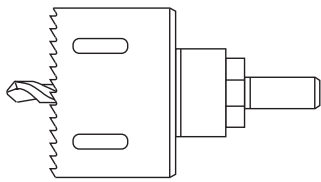
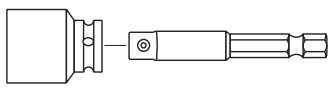
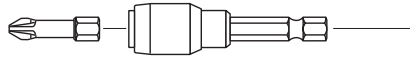
1



CE



- ⊕
- ⊗
- ⊛
- ⬡
- ⊙
- ⊖





警告：ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

ご使用上の注意事項は、「**△ 警告**」と「**△ 注意**」に区別していますので、それぞれ次の意味を表します。

△ 警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意ください。

△ 注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意ください。

なお、**△ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの方へ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。



警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又は、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないようにください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - 安全に効率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。又、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。
11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかり固定してください。
 - 加工するものをしっかりと固定してください。
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は弊社カスタマーサービス、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - 使用しない、又は修理する場合。
 - 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - 電源についた状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を動かさずください。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、又、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整、及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は弊社カスタマーサービス、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は弊社カスタマーサービス、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - 取扱説明書、及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
23. 電動工具の修理は専門店に依頼してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は弊社カスタマーサービス、あるいは弊社営業担当者に申し付けてください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

⚠ 警告

安全作業のために：

1. 専用の充電器や電池パックを使用してください。
 - 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
 - 電池パック SFB 121、SFB 126 以外は充電しないでください。
2. 正しく充電してください。
 - 充電器は定格表示のある電源でご使用ください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - 温度が 0 °C 未満、又は温度が 60 °C 以上では電池パックを充電しないでください。
 - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
 - 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
3. 電池パックの端子短絡させないでください。
 - 電池パックを金属と一緒に工具箱や袋などに保管しないでください。
4. 感電に注意してください。
 - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
5. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
6. 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。
7. 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
8. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - 加工するものを固定するための、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
9. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
 - 使用しない、又は修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。
10. 不意な始動は避けてください。
 - スイッチに指を掛けて連発しないでください。
 - 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
11. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書、及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
12. 電池パックを火中に投入しないでください。
13. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
14. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 子供近づけないでください。
 - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。
 - 充電工具や電池パックを、温度が 50 °C 以上に上がる可能性がある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
 - 安全に効率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。

- モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - 小型の充電工具やアタッチメントは、大形の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
 6. きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
 7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は弊社カスタマーサービス、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
 8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のこがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
 9. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
 11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - 屋外で充電する場合、キャプタイヤコード、又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。
 13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落したり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は弊社カスタマーサービス、あるいは弊社営業担当者に修理を依頼してください。
 - スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
 14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
 - 充電工具が熱くなった、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は弊社カスタマーサービス、あるいは弊社営業担当者に申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

使用上の注意

警告

1. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があるとドリルビットが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
2. 使用中、振り回されないようにサイドハンドルを付け、本体を両手で確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 使用中は、ドリルビット類や回転部、切粉などの排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
4. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにメインスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、又は弊社直営のヘルティセンター、弊社営業担当に点検・修理を依頼してください。
 - そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ドリルビット類や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

注意

1. ドリルビットや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、单手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
4. 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
5. 作業直後のドリルビット類は高温となっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
7. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。

オリジナル取扱説明書

SF121-A 充電式ドリルドライバー

ご使用前にこの取扱説明書を必ず
お読みいただき、注意事項に従って
ご使用ください。

この取扱説明書は必ず本体と一緒に
保管してください。


他の人が使用する場合には、本体と
取扱説明書を一緒にお渡しください。


各部名称 1

- A 電子式回転数コントロールスイッチ
- B 正逆回転スイッチ
- C 二段変速スイッチ
- D トルククラッチ調整リング
- E モーター停止
- F バッテリーリリースボタン (2箇所)
- G クイックリリースチャック

目次	頁
1. 一般的な注意	108
2. 製品仕様	109
3. 安全上の注意	111
4. ご使用前に	113
5. ご使用方法	113
6. 手入れと保守	113
7. アクセサリー	114
8. 本体に関するメーカー保証	114
9. 廃棄	114
10. EU 規格の準拠証明	115

1. 一般的な注意

 この取扱説明書では、安全に関して特に重要な注意事項に記号を付けています。注意事項には必ず従ってください。これを守らなければ、重大な負傷が発生する可能性があります。

 電気に関する警告事項

警告表示




ご使用前に
取扱説明書
をお読みください



リサイクル
規制部品です

1 この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

この説明書で「本体」と呼ばれる工具は、常にバッテリーパック付きSF121-Aを指しています。

 本体を作動させる際には、以下の条件を必ず守ってください。

- 必ず手で持って使用する
- 爆発の危険がない場所で使用する

2. 製品仕様

充電式ドリルドライバー SF121-A

電圧	12 V
重量(EPTA プロシージャ 01/2003に準拠)	2.2 kg
本体寸法 (長×高×幅)	220×231×72 mm
全負荷回転数	一速：0～400 回転/分 二速：0～1300 回転/分
チャック/クイックリリースチャック	1.5～13 mm
最大トルク	21 Nm (ドリル記号で設定)
トルク設定	1.5～10 Nm (15 段階)
回転数コントロール	電子制御によるコントロールスイッチ
正逆回転機能	作動中のロック機能付き切替スイッチ
スピンドルロック	コントロールスイッチがオフの時
モーター停止	コントロールスイッチ
完全防じん密封、永久潤滑油構造 (メンテナンスフリー)	

—注意事項—

本説明書に記載されている振動レベルは、EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。振動負荷の暫定的な予測にも適しています。記載されている振動レベルは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、振動レベルが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。振動負荷を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。作業者を振動による作用から保護するために、他にも安全対策を立ててください。(例:電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てるなど)。

騒音/振動について (EN 60745) :

サウンドプレッシャーレベル	<70 dB(A)
EN 60745 に準拠、測定した上記騒音レベルの誤差は、3 dB です。耳栓を着用して下さい！	

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計)

EN 60745-2-1 に準拠	金属への穿孔、($a_{h,D}$):	<2.5 m/s ²
EN 60745-2-2 に準拠	留付け (打撃なし) (a_h):	<2.5 m/s ²
3 軸の振動値の不確実性 (K)		1.5 m/s ²

バッテリーパック	SFB 121	SFB 126
電圧	12 V	12 V
バッテリー容量	12 V × 2.0 Ah = 24 Wh	12 V × 3.0 Ah = 36 Wh
重量	0,72 kg	0,77 kg
温度モニター	付き	付き
セルの種類	ニッケル-カドミウム 構成 SUB C	ニッケル-金属水素 構成 SUB C
セルブロック数	10個	10個

技術データは予告なく変更されることがあります。

2.1 用途

ドライバーの種類／用途	寸法	回転数
ボード貼り用スクリュー (Spax)	6 × 60 mm 直径	1 (低速)
プラスチックアンカー用木ネジ	—	1 (低速)
DXスタッドボルトEM8	—	1 (低速)
セルフドリリングスクリュー	S-MD 01 4.8 × 19 mm	2 (高速)
木材 (軟) /パーティクルボードへのネジ締め	15 mm 直径	2 (高速)
ホールソー	68 mm 直径	2 (高速)
HSSビット	10 mm 直径	2 (高速)

2.2 正しい使用

- ネジの締め付けと取り外し
- 金属や木材への穴明け

作業区域として、建設現場や工場での改修・改築・新築工事などが考えられます。

3. 安全上の注意

3.1 一般安全注意事項

—警告— 注意事項のすべてをよくお読みください。注意事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。以下の事項内で使用する用語『電動工具』とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

安全ガイドを大切に保管してください。

3.1.1 作業環境

- a) 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- b) 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性気体に引火する恐れがあります。
- c) 電動工具の使用で、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、ツールのコントロールを失ってしまう恐れがあります。

3.1.2 電気に関する安全注意事項

- a) 本体の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更しないでください。アースした本体と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- b) パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- c) 本体を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- d) 本体を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、ケーブルを持ちたり引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- e) 屋外工事の場合には、認可マーク付きの専用延長コードのみを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。

3.1.3 作業者に関する安全

- a) 電動工具を使用の際は、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には本機を使用しないでください。本機使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- b) 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた粉じん

マスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。

- c) 電動工具の不意な始動は避けてください。電動工具にバッテリーを装着する前に、オン/オフスイッチが「オフ」の状態にあることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態で本機のスイッチに指を掛けたまま運んだり、バッテリーを装着したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- d) 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレッチを取り外してください。調節キーやレッチが本機のリターン部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- e) 慎重な作業をおこなってください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- f) 作業に適した作業服を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋をツール可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- g) 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。

3.1.4 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

- a) 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業がおこなえます。
- b) スイッチに支障がある場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- c) 本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前に、電源プラグをコンセントから抜く/またはバッテリーパックを本体から外してください。この安全処置により、本体が不意に始動するのを防ぐことができます。
- d) 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みでない方による本機のご使用はお避けください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- e) 電動工具のお手入れは慎重におこなってください。本機の可動部分が引掛かりなく正常に作動しているか、本機の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用になる前に、損傷部分を修理させてください。発生事故の多くは保守管理の不十分なツールの使用が原因となっています。
- f) 先端工具をきれいに保ってください。お手入れのゆきとどめした先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- g) 本説明書内の指示に従うとともに、各形式に合った電動工具、アクセサリー、先端工具を使用してください。

い。この際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

3.1.5 充電器具の慎重な取扱いおよび使用

- 電動工具にバッテリーを装着する前に、オン/オフスイッチが『オフ』の状態にあることを必ず確認してください。オン/オフスイッチが入っている状態でバッテリーを装着すると、事故の原因となる恐れがあります。
- バッテリーがメーカー推奨の充電器で充電されていることを確認してください。特定のバッテリーに適した充電器にその他のバッテリーを使用すると、火災をまねく恐れがあります。
- 必ず本機に適したバッテリーを使用してください。その他のバッテリーを使用すると、けがや火災をまねく恐れがあります。
- 使用していないバッテリーは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジ、その他バッテリー端子間の短絡の原因となる小さな金属片から離してください。バッテリーの短絡は、やけどや火災をまねく恐れがあります。
- 取扱いを誤ると、バッテリーからバッテリー液が漏れる恐れがあります。流れ出た液体に触れることのないよう十分ご注意ください。万一、この液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。液の飛沫が眼に入ってしまった場合は、すぐに大量の水で洗眼した上、眼科医の診察を受けてください。流れ出た液体は、肌に刺激を与えたり、やけどをまねく恐れがあります。

3.1.6 サービス

- 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性維持が確実におこなわれます。

3.2 その他の安全上の注意

3.2.1 作業場

- 本体に集じん装置を取り付けずに作業をする場合、作業者の方は防じんマスクを着用しなければなりません。
- 本体は、子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。
- 本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。
- 含鉛塗料、特定の種類の木材、鉱物、金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。作業者や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシやブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、木材保護剤）が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が処理を行うようにしてください。できるだけ集じん装置を使用してください。集じん効果を高めるには、

当電動工具に適したヘルティ推奨の木材/鉱物粉じん用移動式集じん機を使用してください。作業場の換気に十分配慮してください。フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。処理する母材について、各国で効力を持つ規定を遵守してください。

3.2.2 電気に関する安全注意事項

- 作業材料を固定します。作業材料を締め付ける時は、クランプあるいは万力を使用してください。この方が手で押さえるよりも確実であり、本体を両手で自由に操作することができます。
- 使用する先端工具がチャック機構に適合し、チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。
- 埋設された電線または電源コードが先端工具で損傷する恐れがある場合は、本体の絶縁されたグリップを保持して作業してください。電流の流れている電線に触れると、本体の絶縁されていない金属部分が通電され、作業者が感電する危険があります。

3.2.3 使用者に留意して頂くこと

- 作業を開始する前に、作業場に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。例えば、作業中に誤って先端工具が電線に触れると、本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。この場合、感電による重大な事故が発生する危険があります。

3.2.4 電気工具の取扱いと手入れ

- 作業場の採光に十分配慮してください。
- 作業場の換気に十分配慮してください。作業場の換気が十分でないとき、塵埃による汚染で健康が害される恐れがあります。

3.2.5 個人保護用具

本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、ヘルメット、耳栓、保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。



保護
メガネを
着用して
ください



保護手袋を
着用して
ください



粉じんの多い
作業においては、
防じんマスクを
着用してください

4. ご使用前に



先端工具を使用される前に、この取扱説明書に記載された安全上の注意点をよくお読みになり、それに従ってください。



SF 121-Aは必ずバッテリーパックSFB 121またはSFB 126と一緒に使用してください。



新品のバッテリーパックの場合は、セルを確実に初充電するため、ご使用前に必ず通常方法で24時間あるいはコンディショニングモードで最大12時間充電してください。

温度が低い場合：バッテリー能力は低下します。バッテリーを使用しない場合は、室温で保管してください。

温度が高い場合：バッテリーを高温になるような場所に保管しないでください（太陽の直射下、窓際、自動車のフロントウィンドウの後ろ、ラジエーターの上等）。

バッテリーを完全に放電しないでください。完全に放電してしまうとセルが損傷することがあります。

5. ご使用方法

先端工具の取り付け／取り外し



運搬時や先端工具の取り付け、取り外しの時に不意にスイッチがオンになるのを防ぐために、安全キャッチ**2**を使用してください。

クイックリリースチャック

先端工具は、チャックキーを使わずに締めたり緩めたりすることができます。コントロールスイッチがオフの時、スピンドルはロックされています。この機能は、クイックリリースチャックの開／閉時に役立ちます。

バッテリーパックの取り外し

5 バッテリーリリースボタン（2本指での操作）

バッテリーを交換する場合、リリースボタンを押し、本体からバッテリーパックを取り外します。

バッテリーパックの装着

バッテリーパックをストップ位置まで押し込みます。バッテリーパックのカチッという音が聞こえなければなりません。

必ずヒルティのバッテリーパックSFB 121またはSFB 126を使用してください。

バッテリーパックの充電

必ずヒルティの充電器C7/24、C7/36-ACS、SFC7/18、TCU7/36、SBC12Hを使用してください。充電は、充電器の取扱説明書をご覧ください。

バッテリーパックSFB 126を古い充電器SBC 12Hで充電すると、容量の低下が起ることがあります。フル容量を達成するには、充電器C7/24、C7/36-ACS、SFC7/18、TCU7/36を使用してください。


回転数選択

3 二段変速スイッチ

機械的な二段変速スイッチでは、回転数を選択することができません（一速：0～400回転／分または二速：0～1300回転／分）。切り替えは必ずドリルが作動していない時に行ってください。

トルク選択

4 トルククラッチ調整リング

リリーストルク（1～10 Nm）は調整リングで希望するトルクレベルに（レベル1～15）に設定します。回転のみの位置（)ではトルククラッチがブロックされます。この位置では、ドライバーは最大トルク、約21 Nm（ブロックトルク）を生み出します。

正逆回転選択

2 正逆回転スイッチ

正逆回転切替スイッチを使用することにより、先端工具スピンドルの回転方向（正回転、逆回転）を選択することができます。モーター回転中はロック機能により、スイッチの切替ができなくなります。中立の位置では、コントロールスイッチ**A**はブロックされます。

回転数コントロール

電子式回転数コントロールスイッチ

スイッチをゆっくり押すことにより、回転数をゼロから最大回転数まで無段階調整することができます。

6. 手入れと保守



本体が不意に始動することがないように、清掃作業を始める前にバッテリーパックを取り外してください。

手入れ

注意

本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。洗剤、磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、耐衝撃性プラスチックで作られています。グリップ部分は合成ゴムを使用しています。

通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。本体内部に異物が入らないようにしてください。定期的に、少し湿した布で本体表面を拭いてください。スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

先端工具は慎重に手入れしてください。付着した汚れを取り除いてください。コネクションエンドはいつも清潔に保ち、薄くグリースを塗布してください。

バッテリーパック SFB 121、SFB 126

バッテリー端子に付着した埃や油を取り除いてください。必要に応じて、バッテリー端子をきれいな布で清掃します。

長期間の使用後に、バッテリーパックの容量が許容レベルを下回った場合には、ヒルティによる点検を受けられることをお勧めします。

保守

本体のすべての表面パーツに損傷がないか、またすべての装置が支障なく作動するか定期的に確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、本体を使用しないでください。修理が必要な際は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

7. アクセサリー

バッテリーパックの取り外し

5 バッテリーリリースボタン（2本指での操作）

バッテリーを交換する場合、リリースボタンを押し、本体からバッテリーパックを取り外します。

バッテリーパックの装着

バッテリーパックをストップ位置まで押し込みます。バッテリーパックのカチッという音が聞こえなければなりません。

必ずヒルティのバッテリーパック SFB 121 または SFB 126 を使用してください。

バッテリーパックの充電

必ずヒルティの充電器 C7/24、C7/36-ACS、SFC7/18、TCU7/36、SBC12H を使用してください。充電は、充電器の取扱説明書をご覧ください。

バッテリーパック SFB 126 を古い充電器 SBC 12H で充電すると、容量の低下が起こることがあります。フル容量を達成するには、充電器 C7/24、C7/36-ACS、SFC7/18、TCU7/36 を使用してください。

バッテリー SFB 121 または SFB 126

必ず SFB 121 または SFB 126 のバッテリーを使用してください。

特殊先端工具に関するプログラム

通常のプログラムには含まれていない特殊先端工具が必要な場合は、弊社営業担当またはお近くのヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。ヒルティは、プロ仕様の特殊先端工具を豊富に取り揃えています。

8. 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造上欠陥がないことを保証します。この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り扱いおよび清掃、保守が正しく行われていること、ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。このことは、ヒルティ純正部品、構成部品、およびスペアパーツのみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、装置の寿命期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。通常の摩耗の結果として必要となる修理、部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、厳格な国内法がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。とりわけ、ヒルティは、本体の使用目的の如何に関わらず、使用した若しくは使用できなかったことに関して、またはそのことを理由として生じた直接的、間接的、付随的、結果的な損害、損失または費用について責任を負いません。市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であり、保証に関するその他の説明、または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

9. 廃棄



本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、本体や古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

10. EU 規格の準拠証明

名称：	充電式ドリルドライバー
機種名：	SF 121-A
設計年：	2001

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します：

2009 年 12 月 28 日まで 98/37/EG、
2009 年 12 月 29 日以降 2006/42/EG、
2004/108/EG, 2006/66/EG,
EN 55014-1, EN 55014-2, EN 60745-1,
EN 60745-2-1, EN 60745-2-2

Hilti Corporation



Dietmar Sartor
Head of BA Quality Process
Management
Business Area Electric Tools &
Accessories
12/2009



Roman Haenggi
Senior Vice President
Business Unit Cordless and
Cutting

12/2009

Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.com



340451

